

土壌くん蒸剤による難防除雑草ゴウシュウアリタソウの防除

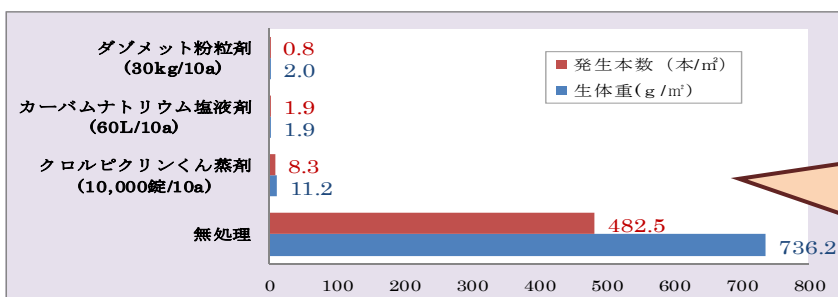
【1 成果概要】

雨よけほうれんそう施設内で発生しているゴウシュウアリタソウの防除対策として、ダズメット粉粒剤（商品名：バスアミド微粒剤、ガスタード微粒剤）またはカーバムナトリウム塩液剤（商品名：キルパー）を用いた土壌くん蒸処理が優れます。

【2 成果内容】

(1) 土壌くん蒸剤の種類と処理量

ダズメット粉粒剤は30kg/10a処理、カーバムナトリウム塩液剤は60L/10a処理を行います。両剤ともほうれんそうの一年生雑草を対象として農薬登録されています。

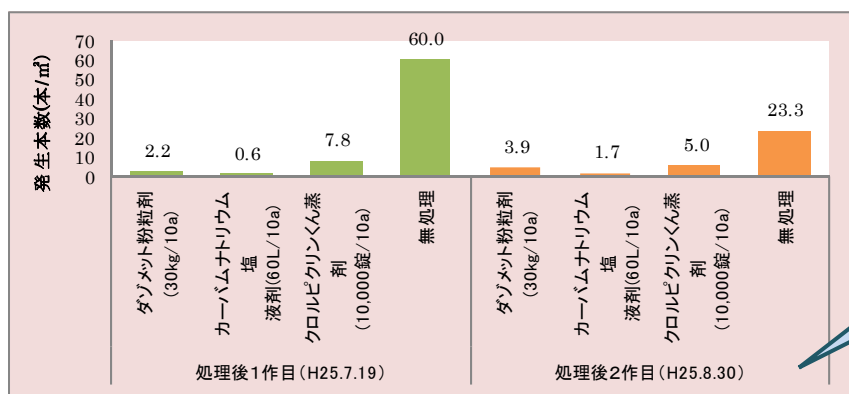


クロルピクリンくん蒸剤も除草効果がありますが、残草量はやや多いです。

図1 土壌くん蒸剤処理後のゴウシュウアリタソウ発生量

(2) 土壌くん蒸処理の効果持続期間

土壌くん蒸処理の防除効果は、処理2作目の収穫時まで持続します。



6月下旬に土壌くん蒸処理した効果は、8月下旬まで効果が持続しています。

図2 ほうれんそうを連作した場合のゴウシュウアリタソウ発生本数

【3 留意事項】

- 具体的な土壌くん蒸処理方法は、岩手県農作物病害虫・雑草防除指針などの資料を参照してください。
- くん蒸処理後に発生したゴウシュウアリタソウは次作以降の発生源となるので、結実前に除去します。
- くん蒸処理施設内への種子の再侵入や未発生施設への拡大を防止するため、使用した機器は洗浄し、雨水の流入を防止します。

【4 適用対象】

- 地帯：県下全域（ゴウシュウアリタソウが発生している雨よけほうれんそう施設）
- 対象者：ゴウシュウアリタソウに苦慮しているほうれんそう生産者